



MGU Chapel Letter

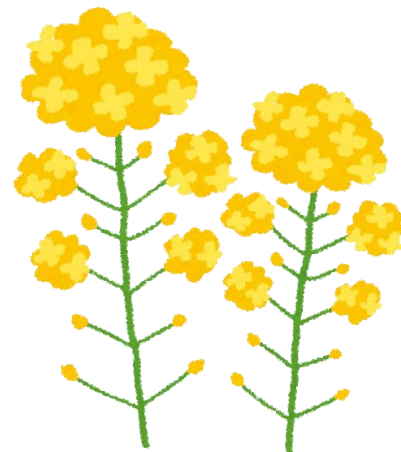
—第 42 号 2024 年 10 月 2 日— 発行：大学宗教センター



* 2024 年度 年間聖句 *

「人にしてもらいたいと思うことは何でも、
あなたがたも人にしなさい。」

マタイによる福音書 第 7 章 12 節



10 月の大学礼拝スケジュール

【12 時 10 分～12 時 30 分 礼拝堂にて】

- ・ 10 月 2 日 (水) 長谷部 弘 (学長)
- ・ 10 月 4 日 (金) 清水 禎文 (教育学部教授)
- ・ 10 月 7 日 (月) 新田 恭平 (猪苗代教会牧師)
- ・ 10 月 9 日 (水) 松本 のぞみ (日本基督教団 東北教区巡回教師)

～ 10 月 11 日 (金) は大学祭準備、14 日は祝日 (月)、16 日 (水)
は全学院防災訓練のため礼拝はありません

- ・ 10 月 18 日 (金) 松本 周 (一般教育部准教授)
- ・ 10 月 21 日 (月) 銭谷 幸器 (仙台南吉成キリスト教会牧師)
- ・ 10 月 23 日 (水) 中本 純 (仙台東六番丁教会牧師)
- ・ 10 月 25 日 (金) 栗原 健 (大学宗教センター長)
- ・ 10 月 28 日 (月) 風間 信義 (日本キリスト改革派仙台教会牧師)
- ・ 10 月 30 日 (水) 近藤 誠 (仙台北教会牧師)

【連絡先】 宮城学院キリスト教センター

TEL : 022-279-9558

Email : christ-c@mgu.ac.jp

大学祭での礼拝堂プログラム!!

10月12日(土)・13日(日)

以下の催しが礼拝堂で行われます。ぜひいらして下さい。

❖ 12日(土) 14:00~16:00 大学聖歌隊第6回定期演奏会

今回の演奏会のテーマは、“Living Now!!”です。

見上げる青い空、人々の温かさ、そして響き渡る歌声。「今この瞬間を大切にしたい」という思いが込められています。人生には喜びや悲しみ、楽しさや寂しさが共存していますが、その中で私たちは前進し、成長し続けています。音楽を通じて、会場の皆様と共に、生きることの美しさや素晴らしさを感じ合えたら幸いです。

演奏曲目 (指揮：船橋洋介)

オープニング：Lift Thine Eyes!

「山に向かいて目を上げよ」 F.メンデルスゾーン

第1部 平和への祈り ー世界の讃美歌と宗教作品から

2つのモテット G・フォーレ

勝利をのぞみ (讃美歌 21-471)

来たれ聖霊よ (讃美歌 21-346)

やすかれ、わがこころよ (讃美歌 21-532)

第2部 ジャズ・ミサ

A Little Jazz Mass B.チルコット

第3部 Living Now!

鴉 Kamome 未来へ ハナミズキ いのちの歌



❖ 13日(日) 9:00~9:30 礼拝

説教：松本周 奏楽：大学ハンドベルクワイア

❖ 13日(日) 10:10~10:50 ハンドベル演奏会

演奏：大学ハンドベルクワイア 指揮：越懸澤麻衣

曲目：CANON OF GRACE ふるさと 星に願いを it's a small world

きらきら星&見上げてごらん夜の星をメドレー As the deer

✦ 山に向かいて ✦



旧約聖書には「詩編」という、古代イスラエル民族の人々が歌っていた讚美歌のコレクションが収録されています。さまざまな歌がありますが、とりわけ日本人に親しまれて来たのが詩編 121 篇です。「目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。わたしの助けはどこから来るのか。わたしの助けは来る 天地を造られた主のもとから。」(1~2 節) という言葉に始まり、神の守りに対する信頼を歌いあげていく美しい詩です。

この歌の魅力は、やはり「山々を仰ぐ」という冒頭のくだりでしょう。日本には「山岳宗教」と言って、山は神々が宿るところと考える伝統的な感性があります。緑豊かな山を見上げながら、神の愛を思う…という和やかな姿は、確かに私たちの心に響くものがあります。

しかし、聖書の世界の人々がそのような目で山を見ていたのかというと、どうも違うようです。パレスチナの山はゴツゴツした険しい岩山が多く、日本の山のような緑あふれる優しいイメージはありません。そのため、聖書学者の中にはこの詩編の設定を、「旅人が、これから越えて行かなくてはいけない荒山を見上げて恐れをおぼえながら、『私の助けはどこから来るのか』と考えている」と解釈する人もいます。

私たちも、何か問題に直面し、「どうやってこれを乗り越えたらいいんだろう」と悩むことがあります。そうした時、問題のことだけに集中していると、不安な思いから悪い想像が働いて、どんどんそのトラブルが大きくなっていくように思えてしまいます。見上げれば見上げるほど、問題は大きく見えていくからです。

そのような時には、一度問題を見つめることをやめて、今まで守り導いて来て下さった神の愛のことを思い起こしたいです。「主はあなたを見守る方、あなたを覆う陰、あなたの右にいます方」(5 節) と思い出すこと、それは自分自身を取り戻し、問題に呑まれてしまうことを避ける方法です。

大学祭初日に行われる聖歌隊の定期演奏会では、この詩編に基づいたメンデルスゾーンの作品「山に向かいて目を上げよ」(オラトリオ『エリア』から) が歌われます。ぜひこの歌を聞き、私たちに注がれる神の愛と導きを思い出しましょう。2 日目のハンドベル演奏会ともども、どうぞいらして下さい。(栗)